

令和4年度 第1回尾張旭市地域づくり懇談会 会議要旨

1 開催日時

令和4年11月2日（水）午前10時から午前11時10分まで

2 開催場所

尾張旭市役所2階 201会議室

3 出席した構成員

高橋 眞知子（座長）（名古屋経営短期大学）、大川 正喜（尾張旭市商工会）、
水野 恵介（あいち尾東農業協同組合）、横山 史佳（尾張旭市観光協会）、
酒向 清治（瀬戸信用金庫）

4 欠席者

なし

5 傍聴者数

0名

6 出席した事務局等職員

(1) 事務局

企画課長 山下 昭彦、企画課政策企画係長 田中 広樹、
企画課主査 奥村 香絵、北川 歩

(2) オブザーバー

産業課商工振興係長 永谷 尚子

7 議題

「まち・ひと・しごと創生第2期尾張旭市総合戦略」令和4年度（令和3年度実績）
の評価状況について

8 会議の要旨

【主な質問】

- ・既存農業者の出荷数の減少傾向に対して、どのように感じるか。
⇒ 農業者の高齢化も影響している。
- ・商業における後継者不足等の問題に対し、何か取り組んでいるのか。
⇒ 市内で購入する市民が減少しているため、市の補助金などを活用しながら、
店舗の改装やホームページの改修など「魅力的な店舗づくり」を支援している。
⇒ 事業承継に関する専門部署を設けて支援している。
- ・後継者のいない商店と、若者をマッチングする取組を、行政側で推進してほしい。
また、市内で購入することに特典を付けるなど、市全体として、地元で購入しよう
と思うきっかけづくりを、商工会などとともに取り組んでほしい。
⇒ 御意見を参考にさせていただく。（事務局）

・「ボランティアセンターの登録者数」が減少していることに加え、民生委員の高齢化もある事を考慮すると、有事の際の対応に不安を覚える。

⇒ 自治会加入率が全国的に低下している中、「地域包括ケアシステム」などの取組も推進しているが、対応の充実は難しい状況にある。（事務局）

・「自ら緑を育成している市民の割合」に関して、実際に「まちに緑があふれている」と感じるか。

⇒ 本市は割と公園が多いほうではないかと感じる。

・「花いっぱいコンテスト」などを開催すると、活動を通じて本市のことを好きになってもらうことにならないか。

⇒ 「アダプトプログラム」などの制度を通じて、地域の皆さんと美化活動等を進めているが、御意見を参考にさせていただきたい。（事務局）

・基本目標と戦略を同列で評価しているように思う。基本目標を達成するために、基本目標の達成度合いを確認し、それに対する戦略の効果測定を行うべきである。これらを整理すると、分かりやすい議論が可能となり、次期総合戦略の策定にもつながるのではないか。

⇒ 次期総合戦略策定の際の参考にさせていただきたい。（事務局）

・本市の人口の推移は、どのような状況か。

⇒ 20～30代の人口比率が低く、自然増が見込みにくいため、今後は人口減少に転じていくと予想される。（事務局）

・いかに生産年齢人口を取り込むかが重要になると思うが、こうした世代の人達が長く本市に住み続けられることに対し、何か考えはあるのか。

⇒ 全国的に人口減少にある中、本市のみ継続して人口増加することは難しいと考えている。（事務局）

・市政運営を行う上では、生産年齢の人口の増加や、出生率の向上が必要となる。若い世代は、託児や子育て支援などの制度に関心が高いため、市として独自の支援策があると生産年齢人口の増加につながると思う。

【指示・確認事項】

・尾張旭市企業版ふるさと納税の状況について説明（事務局）

・次回懇談会等の開催内容について説明（事務局）

【その他】

・名古屋経営短期大学の無料講座について説明（構成員）

・あいち市町村フェアについて説明（事務局）